

# こん 新刊

16.12 No.234  
発行所 市岡田  
0883-88-529

新入生がいな  
いと。いう。  
私の住んでる  
今井集落は  
通年で住んで  
るのほ、もうすぐ

二の五年間に、徳島県内が  
十二の集落が「消滅」してい  
るとの新刊記事がありました。  
三好市でも三集落がそう  
将来的に消滅する想山があ  
るのが三三七集落だそうであ  
る。人口が減っているのだから、  
団舎になればなる程、高齢  
者ばかりの集落になつていく  
現実。新築したばかりの  
東祖谷小、中学校、統合して  
一校になりましたが、来年の



## 誰が なにかする

のかが?

七十才になる私一人。  
三月から一月位まで、三人と  
か五人増えたりしますが、お祭  
りなどの集落とこの基本的な  
活動はもうありません。

お堂やお堂も手つかずの状態。  
消滅する集落の一つといえます。

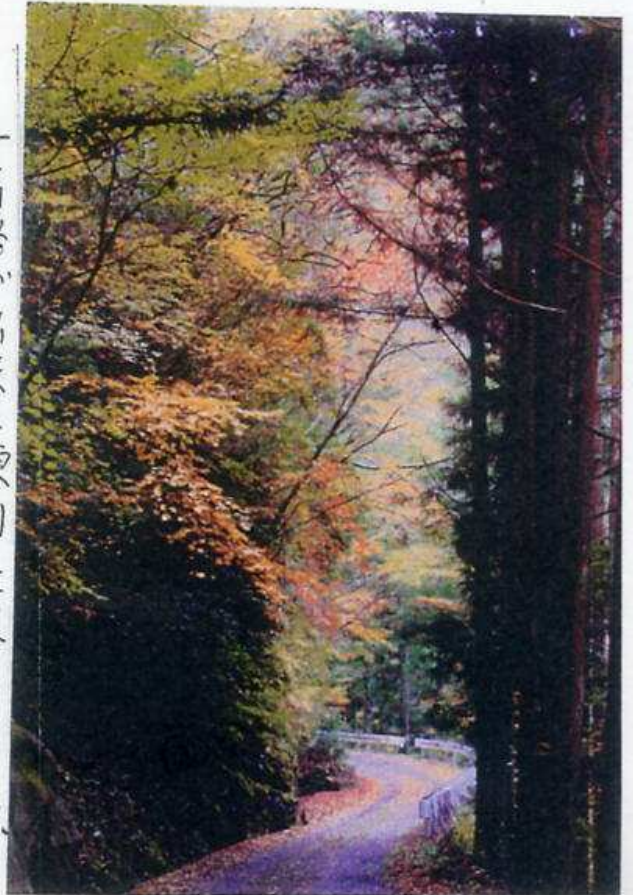
一テで、外国人の観光客が増えたりか、  
ラフティングの国際大会が大歩危で予定  
されたりと、明るいニュースもないことはい  
え、それに、少ないとはいえず、三好市への移住者も  
ある。

それでは、住民の会話の中心は「年寄りば  
かりになつて、仕事もないのに若い人にも  
んて来いとほし」学校なくなつたらよめるの  
「どうなるんだろう」と将来の不安視す  
る声かほとんどです。

誰かが何んとかしてくれらんぞしようか、  
小学校のキッズスペースを見に行つ  
たのですが、その中び、百年後の祖谷の  
かぶら橋がぼんやりと見え、笑い声もあつたの  
ですが、笑える状況ではないのです。

かぶら橋、かけかえる人がいなくなるとい  
は、あつたころにありたい橋の様には  
なぞしよう。

東祖谷でも産業の育成にむけて、何も  
ないかたのでもありません。  
補助金を引っぱつてきて、栗園をスタート  
したり、桑畑、高冷地野菜、花木栽培、  
などなど、どこも定着していません。



道路が出来れば便利にはなりました。  
それでは、誰かが何んとかしてくれ  
のぞしようか。

あの、公共事業なるものが引っぱつて  
た時代には、東祖谷にも事業が次々  
ありましたが、今では残つてゐる会社も  
少なくなつてきました。

今は、観光事業が中心になりつつあ  
りますが、過疎にストップをかけるこ  
とは難しいとおもいます。  
当然といえは当然ですが、自分達が  
儲ければいいのですから。

その「誰か」にはなつてくれようとい  
りません。  
その「誰か」が出てくるのを待つてい  
は、先に集落が消滅してしまつてい  
ます。

住民一人が考え、行政も民間の事業者  
も利害を越えて、「何んとかしよう」と  
心を一つにしなれば、残念ながらス  
トをかけたらいふうちにありません。  
自分達に出来る事をしなると、捨  
らわしてしまつ様におもつて居るあり  
ません。